臺灣日日新報　夕刊
七月二十三日
發行所 臺北市 臺灣日日新報社

臺灣は主として專賣品の値上げ

内地の増税に併行

拓相が調査を命ず

【東京二十三日本社特電】政府は内地に於ける増税實施と併行して朝鮮、臺灣等外地に於ける増税をも同時に斷行し、それによる増收を一般會計に繰入れる意向で既に馬場藏相は永田拓相に對しこの點を求めるとともに拓相の協力を懇請したので、拓相は樺太廳の今村長官、朝鮮總督府の今井田政務總監、臺灣總督府の平塚總務長官に命じ、内地の増税實施の場合直ちに之に追随し得られる様調査を急がせてゐる、而して現在外地に於ける租税の負擔状況は樺太では大體内地と同程度、臺灣は内地より約五割方輕く、朝鮮では更に内地の四分の一程度となつてゐるが、朝鮮特別會計のみは毎年國庫より千二百萬圓の補充金を仰いで財政を賄つてゐる始末なので外地増税の目標はこの補充金を浮かし更に若干限は國庫に繰入れ得る程度の増收を擧げる計畫である、朝鮮に於ける増税は勿論内地の増税計畫に倣つて之を併行せしめんとしてゐるが、朝鮮、臺灣の歳入の約六割乃至七割は專賣その他の官業收入になるので從つて專賣事業の増收が最も簡單にして效果的な増税方法として煙草の値上げは全く不可避とされてゐる、その他朝鮮には地税の税率引上げ、臺灣にては近年著しく好成績を擧げてゐる專賣事業の酒類の値上げを第三種所得税の免税點が朝鮮の八百圓に比し千五百圓となつてゐるのでこの免税點の引下げ等が外地増税計畫の根幹として考慮されてゐる

國策の篩ひ分け

近く三長官會議を開く

【東京二十三日發】各省より廣田首相の手許に提出された二十餘件の國策案については十八日來吉田調査局長官の手許において各調査官が會議を開き吉田調査局長官より更に馬場、永田兩長官に提示し、更に聯絡を重ねた上廣田首相に進言する事となつた、而して三長官會議において審議される國策は概ね五六項目に限定され大體

一、電力國策案
一、燃料原料國策
一、貿易國策
一、航空國策
一、保健國策
一、義務教育八年制案
一、増税を含む税制改革案

等が最も有力な國策と見られて居り、殘餘の二十數項案は新規事業に廻されるか全然オミットされる譯である、但し國策項目を閣議に附議するまでには軍事費を先議し、國防國策並に財政政策の全貌が略明白にされねばならぬので、これ等國策が實際閣議に提示されるのは相當遅れる模様である

天機並御機嫌奉伺の電報を奉呈

中川總督は二十二日夕刻付天機並御機嫌奉伺、皇太后陛下の御機嫌奉伺電報を奉呈した

……兩三日中には大體國策の項目を決定し得る見透しがつくに……

顧みて他を云ふ

孔財政部長の回答

疑ひは殘る『米支協定』

【東京二十三日發】二十二日着南京總領事より外務省への報告に依れば二十一日同總領事は財政部長孔祥熙氏を訪問し過日米國に於て傳へられてゐる米支協定の内容に關し南京政府の正式說明を求めたが、右に對し孔祥熙氏は陳光甫氏が米國において現銀に關する米支協定を取極めた以外最近米支間には別段の協定は存在せざる旨言明した、陳光甫氏の所謂米支協定には現銀に對する米支間の授受を規定したのみであつて現銀に對する米國側の反對供與は依然判明せず武器彈藥品供給の問題こそ重要な……

地方長官會議

答申を終り閉會

刷新會議に相應しく

地方長官會議第二日目は二十三日午前八時より督府正廳に於て再開、諮問事項たる「内外の情勢に鑑み本島地方行政財政その他諸般の事情に即し刷新改善を加ふべき重要事項を諮ふ」を上程刷新會議に相應しく出席の長官連は昨日に優る熱意をもつてか制服のホックも外さず日頃の意見を傾け卓說を吐き熱心に答申し豫定よりも早く午後一時頃全部の答申を終り閉會した

給仕からでも知事になれる

潮内相が大英斷

人事方針を一變

【東京二十二日發】潮内相は内務首腦部と協議の結果政界一新の流れに棹さし斷乎官界を開放し廣く人材登用の途を拓く事に決し、從來の入省方式を……これら資格者中より優秀なるものを第一次に約十名位選び内務省採用とし部長から知事、局長まで昇進し得る資格を付與することに決定し今後もこの方針を持續せしむることに決定した、これは潮内相の三十年に亙る内務生活の體驗から衷心出の官吏を刺戟せんとするものである

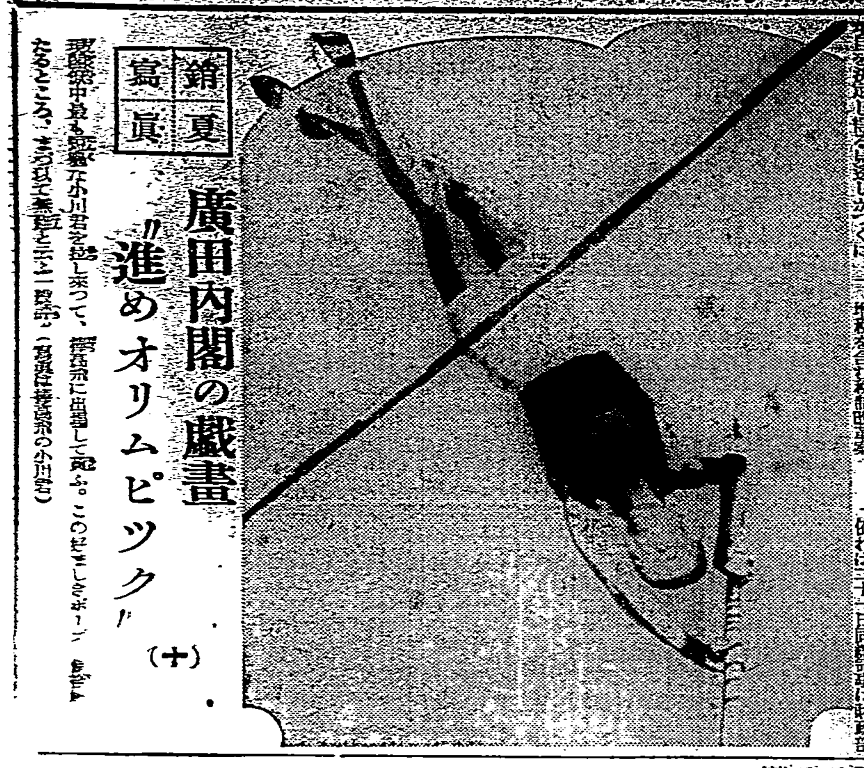
九州に颱風

福岡は風速卅一米

眞室勸業課長

拓務本省へ

【東京二十三日發】拓務辭令
任拓務事務官(五等)　臺灣總督府地方理事官　眞室亞夫
任臺灣總督府地方理事官(六等)　拓務理事官　鳥海　剛
任拓務理事官(七等)　拓務屬　下城義二郎
同新竹州勸業課長には辻州新竹州勸業課長が轉じ、その後任には嘉義川助役が轉じ、鳥海氏は嘉義川助役に任ぜられる事となつた



廣田内閣の戲畫
進めオリムピック
(十)
寫眞　銷夏

蔣サンが恐日病の注射療法

委員會を新設して

日米通商關係を調整

外務省局面打開に乘出す

米國の對日貿易　出超二億餘萬圓

【東京二十三日發】日米通商の局面打開のため外務省に於て商工其他關係省と諮り重大國策を攻究してゐたが、愈々日米通商委員會を作つて之が解決に乘出すことに方針を定めた模様である即ち米國の對日輸出は昨年二億七千四百萬圓本年六月末までには一億二百萬圓の著しき出超となつてゐるにも拘らず各種關税引上げを行つてゐる從つて斯る米國に於ける商品輸入障壁の緩和を圖るため通商委員會を設け……め右委員會で調査研究し、出來る限り關税引上げの……を陷らしめず、以て兩國間の通商關係を圓滑に進行せしめんとする意見が漸やく兩國の識者間に唱へられるに至つた、而して委員には兩國の實業人某者其に商工、大藏外務の各當局及び大使館……

その日その日

○軍艦國策が出揃つて、お月見待ちも近い、但茲つがモノになるか其の見透しは未だく

○今の財界や經濟界は、水禽の羽音にも愕いて飛び立つ、何がこんなに神經質にさせたか——

○世間は馬場藏相の遣り方に危つ氣を感じてゐるといふ、再聲明藏相、以て奈何となす

○火の無い所に煙を立てた者が有る、儲けたアブク錢も、名譽や信用と共に煙、煙

○株屋の投機心が、社會を害するといふ活きた事例にもなる

○お隣では急場の間に合せとあつて毆、唐等々……老大家の晉置殿選舍が始まりさうだとある

○米支間の金融協定を頭に否定し……

人事

▲林熊光氏(大成火災社長)二十五日來北(吉野)二十三日内地より歸臺
▲坂本新三郎氏(日本ム鐵道所長)二十三日高雄へ歸る
▲平島子之吉氏(再與師)二十三日來臺
▲山田清一氏(日本……)二十二日來臺(吉野)

無絃琴

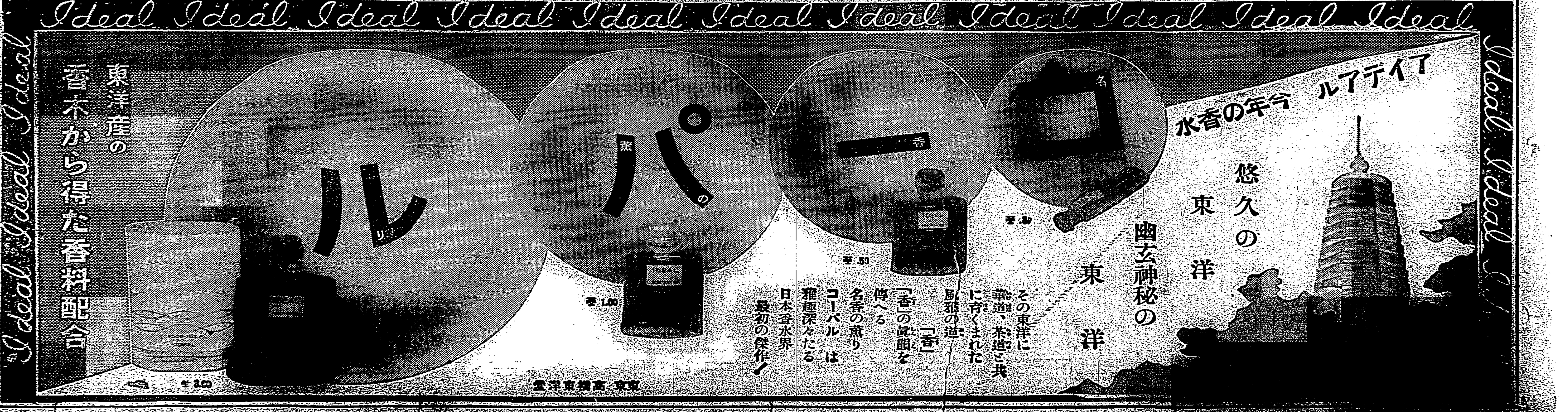
君に、何分異國でも持物であるが、……がかりして世間離れの多いので社會の實情に……入には大分チャーム……

戀愛市場　(55)

松波治郎作　宮田彌太郎畫

實嬌爭 (三)

「どうでした？」
一日置いて行くと、郡築……つてたとばかりに、此の……した。
「いや、途中で、まかれて……たよ」
水木は、平然と答へた。
「ちや、折角の探險も徒勞たね」
「とばかりも云へないな……



新東の値下り目當に 特に"改革案"を報道

執筆者遂に檢擧さる

空中撮影の禁止 けふ發表さる

臺灣防衛上、軍部嚴守を要望

軍司令部發表

禁止區域

聳ゆる雲の峰 灼熱の烈日! 汗す勞働者の足に手に力は罩る (臺北橋附近にて)

一萬二千餘の將校を教育

皇族方の御卒業は御廿一方

六十三年間に

人々が 輩出さる

休暇中の訴狀受付 法院側に責任

上告部の新判例

電球の進出も障碍に惱む

"オ"大會東京招致に 英讓步の氣運濃厚

結局、倫敦案撤回か

男子軍に劣らず 女子水上軍も好調

記錄會で好記錄出づ

二セ身代金珍劇

放蕩息子捕まる

革命軍を邀擊

西政府大軍を集結

鄭神寶氏は一應釋放

病氣のため

高橋司令長官ら

廿九日午後歸臺

產婆さんの會合

支那人役者の賭博

新竹の少年野球

廿五日から舉行

二匪銃殺

定期航空

會事

メガホン塔

あすの天氣

概況

各地溫度

會葬御禮 瀨戶山秉斌

秋マキ種子 臺灣種苗公司

業目案内

書籍 内地土產 樂器 寫眞 料理屋 治療所 雜件

新カメラ 特賣

山葉オルガン

寫眞機と材料

生そば 辨金京町店

鱈とそ 丸金

盲腸の灸

電話債 商品券

運命 姓名

平戶の招味噌

玄米精乳と牛乳

冷西瓜 冷ビール

商品券 債券 電話

東大

下駄製造用刃物 大工、建具用刃物 製材、家庭用刃物 其他打刃物類一式 政廣印刃物製作所

心臟が強くなれば

伊豆椿 ポマード

頭髮のホルモン劑

謝肉祭

ビクターレコード

キユーピー マヨネーズ

不意の御來客に 毎日の御食膳に

フマキラー

ベール

世界最高級ウエスターン吹込

8月新譜

ニットーレコード★タイヘイレコード

瞼の母

天光軒滿月

紙衣祖師 (164)

吉川英治作　山村耕花畫

東國篇

一念一植(六)

「ほう、わしの生命を?」

親鸞は、もの珍らしい事でも聞くやうに、微笑をうかべて、

「それは何かの間違ひでござらう。この愚禿の頭など狙つたとて、何の手功になるものぞ」

「いえ!」

と、その時まで、默つてゐた蓮位が、今度は、村の者たちに代つて膝をすすめた。

「お師さま、その噂は、疾うから耳にしてをりましたが、近頃は、御邊方へお出ましもなく、又、御氣色を損じる事も無益と考へて今日まで默つてをりましたが……」

百姓たちは、蓮位のことばに勇気を得たので、口を揃へ、云ひ足した。

「――何でも、那珂郡の塔の尾とやらに住んでゐる山伏ちやさうな、役の優婆塞の流れを汲む醍醐の僧都と自分から名乗つて、あの邊では、信者も多く、偉う權式ぶつてゐる修驗者たちださうでござります」

「ホウ……その修驗者が、何で又この親鸞の生命をうかがうてゐるのですか」

「私の聞きました所では――」

と、蓮位が述べた。

「お師さまに對して、宗門の恨みを抱いてゐるのではないかと存じます。――元、その修驗者は、京都の聖護院の御内にあつて、學識も修業も相應にすぐれた先達のやうに聞えてをります。――で、那珂郡の國主佐竹末賢殿がはるばる當下の新領所へ京都から召し呼ばれ、國中の山伏の總司として、末派十二坊の支配をさせてゐるのでござります」

「む……成程なう」

「そのため、諸の修驗者は、數年來、諸人の信仰をあつめ、飛ぶ鳥も落す勢ひにござりましたが――折から、お師様がこの稲田へお越し遊ばされ、ひたすら念佛弘通の教化にお盡しなされましたので、それからといふものは、一日毎に、この地方一帯に念佛者は殖えて行くばかりですし、修驗者の一派には十二坊共に、目に見えて衰微して參りました」

「……」

親鸞はかろく髭をひいて苦笑した。さてこそ、ここにも小人の嫉視かと、蠅のやうなうるささを感じるだけだつた。

が――蓮位も百姓たちも、いつかは上人の耳に入れて、その對策を講じようとしてゐたものらしく

「衰微したと申しても、何分國守の佐竹家の庇護もあり、末派十二坊の勢力は、なかなか侮り難いものの由にござります。――のみならず、最近頃のうはさに依れば、その醍醐の僧都を初め十二坊の優婆塞の輩が、かくては安からじと、この稲田の草庵を法敵と見做し、街道や諸郡へは、邪教を調伏せよと、愚民をそそのかし、一方桜敷山には、呪詛の護摩を焚らへて日々夜々、山伏の群が、念佛滅亡上人調伏の胡摩を焚き、精と根のあらんかぎり、親鸞を呪殺せずばおかぬと云つてゐるさうでございます」

村の人々も、蓮位のことばの後に續いて、

「何せい、怖ろしい修驗者でござりますな」

「役の小角の再來ちやと、人もいひ、自分も云うてをりますげな。一度、呪ひの行にかかれば、大地を打つ槌は外れようとも、彼僧都の調伏は外れぬとは、前から云うてをりまする事での」

「どうぞ、柿岡へお越しあそばす事は、お見あはせ下さいませ」

「その桜敷山を越えて、何うして柿岡へ無事で參れますものか」

口々に云つて案ずる人たちへ、親鸞は、いちいち頷いて謝しながら、から云つた。

「――だが、皆の衆。あなた方が田に苗を植ゑる時、田に蛭が居るからと云うて、蛭のゐる田を避して行かれるか。今日も話したとほり一植一念、その信業のまへには何物かあらうと恐れることはない――御心配なさるな、親鸞は一人で參るのではありません、御佛と二人づれぢや。ははは……御佛と二人づれでござるぞよ」

孔雀明王(一)

「おういっ」

岸々と肩をいからしてゐる峯だつた。

すると、木魂のやうに、

「――おおいっ」

と、何處かで答へる。

ここは桜敷山の胸突坂である。その坂道から、岩の上へ向つて小手をかざしてゐる男があつた。

柿いろの篠懸に、黒の行縢を穿いて、頭には兜巾を當て、足には八ツ緒の草鞋をきびしく固めてゐる。

云ふまでもなく優婆塞の一人である。同じ姿の山伏が、そこから切ッ立てに聳えてゐる岩の上にも一人突ッ立つてゐた。それは、手に半弓を掻い挾んで、凝と、麓の道をさつきから見すましてゐるのだつた。

「小川坊つ、まだ見えないか」

下の者が云ふと、

「まだ!」

と、上の山伏は頭を振る。

暫らくして又、

「おウウい」

「何ぢや」

「甲賀坊は、何うしたか」

「あれか、甲賀坊は、萬一の場合にと、筑波の野武士を狩集めに行つた。さう人數はいるまいと思ふが、水も洩らさぬ手配はしておいたはうがいい。……やがてもう甲賀坊も戻つて來ようが」

「さうか、ではそこの見張りは、確と頼むぞ」

「一婦の者こそ、扱かるなと云つてくれ」

乾びた笑ひ聲をながして、下の者は、すたすたと胸突坂を登つて行つた。

するとが、不意に、

「常陸坊」

と、高き松の樹の上から誰かが呼びとめる。

振り仰ぐと、その樹の上にも、一人の山伏が、猿のやうに止まつて物見をしてゐた。

「オオ、何だ」

「まだ來ぬか――親鸞は」

「物見の役が、人にものを訊くはをかしい。そこから、笠間道はよく見えるはずだが」

「除りいつ迄も見えないので、もしやほかの裏道へでもかかりはせぬかと氣を揉んでゐるのだ」

「なに、峠の上で、貝が鳴らぬうちは、懸念はない」

常陸坊は云ひすてて、猶も先へ足を早めた。

と――峠の絶頂に、四方へ竹を立て、注連繩を結び、白木の壇を供へた祈禱場が見えた。

先頃から親鸞調伏の胡摩を焚いて、一七日のあひだ、必死の行をしてゐた那珂の優婆塞院の總司――播磨公弁円は、眼つくりの戒刀を横たへて、そこの壇に坐つてゐた。

京都の聖護院から國守の佐竹家に招聘されて下つて來たといふ、貴僧の僧都といふのは、この弁円であつた。

彼の周りには、同じ装ひの山伏が、ものものしく居ながれてゐた。ざつとそこだけでも、十二、三名はゐる。その他、彼方此方に潜んでゐる者をあはせたら、何れほどの人數か、この桜敷山の樹や岩かげに息をひそめてゐるものか分らない。

「オオ常陸坊か。――途中の物見や合圖は、手ぬかりあるまいな」

「もう、親鸞の師弟ども、見えてもよい時刻ですが」

「焦心るな、今日彼奴が柿岡へ出向くことは確なのだ。……七日の祈禱は颯然と效があらはれたものと云へる。前祝ひに、一杯飲め」

今週の映畫

メトロ特作 或夜の特ダネ

二十四日より新世界館

▲「或る夜の出來事」型のゲーブルが、又しても輕妙洒脱な演技で我我を朗かにしてくれる。その上に此の映畫は取材を興味ある新聞記者生活にとつて、殺人犯人探査のスリルが盛り込まれてゐるから娯樂映畫としての條件を備へてゐる そして脚色家マンキウヰツチのアダプトが隨所に手際のよさを示して、氣持よいギャグを自然的にとり入れ、巧妙にシチユエーションを組立てて、ただらかな筋の運びを見せてゐる

▲又これに對しレオナードのメガホンが要領よくマツチしてゲーブルをよく説服してゐることである ともかくこの作品、脚色、監督、俳優の働き、ハーモニイ振りを發揮してゐる殊に映畫の後半ブランチ(ゲーブル演)がノーウッドを伴ひ犯人バニスターをトッチめるまでの探偵的な興味に添へた明朗さのコナシは堂に入つたものである

▲クラークゲーブル演ずる新聞記者は巧妙であり相棒になつてくつついて廻る新聞寫眞屋にスチユアート・アーウインが扮してゐて、畫面を浮き立たせる相手役はコンスタンス・ベネット

▲尚同時上映はP・C・Lの『都會の奔流』七時三分」メトロ映畫「戰場の女王」の二本

公開欄

▲本欄は讀者の自由論壇中傷は不可▲行數は十五字六十行以内▲匿名可、住所氏名は明記

總督府圖書館 充實の急務

町の學人

◇總督府圖書館の總經費が三萬圓餘、圖書の購入費が僅かに四千圓と聞いては少しく寂しさを得ない。毎月數百の閲覧者を利用してゐる圖書館の貧弱さは宜なる哉の感がある。採光がなつて居ず、眼を惡くするには持つて來いだし、通風は不完全、蒸し返される此頃では落着いて讀む氣にもなれぬ、おまけに臺北の三大危險家屋の一つだと聞く。燈火親しむべき時節ともなれば暴風雨の時季に入るが大丈夫かなア

◇内容に至つてはこの圖書館では商文病備の参考書も完備して居らぬ、醫科大學が出來ても適俗圖書以外には参考になるものもない、外觀内容の充實は屢々要求されてゐるとも聞くが、館長の踏張りが足らぬ爲めか、役人根性で目前の華々しい事業に金を費して了ふ爲めか、何時も流産するらしい

◇市井の讀書子は昨年の六祭り騒ぎ博覧會の金で大總督府に恥しからぬ大圖書館の建設をなし、總督閣下の胸像でも建てて置いたら、未來永劫知識階級に其治績を記念されるだらうと噂し合つた位である。僅か許りの金です、一つ總督府長官部の方にお願ひして通俗圖書館の範圍を抜け出し、大に町の學者を啓出せしめることにしては、總督さんの御一考をお願ひする次第である

土井選手の家庭イン

曹では三塁を守つて名手と謳はれ投手難の早稲田を救つて、プレートを踏んでは何度早稲田を抑へた主將土井壽蔵君、今日ではバットならぬペンを握つて東倉電線本社の事務机に噛りついてゐるが、卒業してもその打撃力は尚素晴しいもので、山脇高女出の麗人いね子さんにクリーンヒットを放つて、あつといふまに新家庭生活にホーム・インしてしまつた(現代八月號新「家庭 回春物語」)

名家敗退將棋(其七)

溝呂木氏一回勝二回目

香落番 七段 △溝呂木光治

六段 ▲平野信助

(圖は四七角迄の局面)

△溝呂木氏(持駒)飛桂歩歩歩

▲平野氏(持駒)金銀歩歩歩歩

△五六歩▲二二飛ナル△七二金▲五二成桂△三二飛▲同龍△同馬▲六一銀△七五桂▲七六歩△同馬▲七七金

△溝呂木七段曰く 五六歩はゆつくり利かして置けば敵角に働けば君も五七歩ナリが惜しく利きます

▲平野六段曰 二二飛成に他に手がない、五二成桂と寄る先には相當に大きいものであると前から狙つてゐました

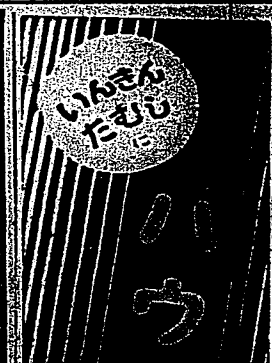
△溝呂木七段曰く 二二飛には[illegible]

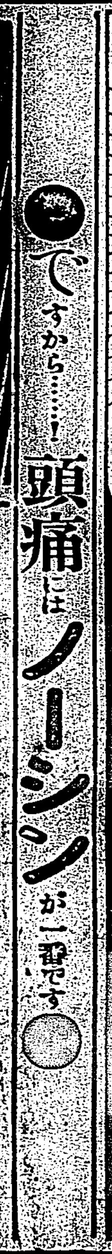
▲平野六段曰[illegible]

防備を薄くすれば自然駒得の力が發揮的に響きます

△溝呂木七段曰く 七五桂は八八銀なれば五七歩ナリや二八飛の攻めがあつてよい味となります

◇大崎八段講評 平野君の六一銀の打ちは成桂と協力して敵王を壓する含みで前に二二飛成と指した時からの狙ひである、溝呂木君の七五桂は當然で君の意想にもあるやう勝負となつてゐるので殺い運びでは不利が重なる敵角の活きたいに利した決戰策であつた、平野君の七六歩と突き同馬七七金と手く利かした[illegible]





各省提出重要國策 再兩三日中應決定

合經三長官會議進言首相

東京二十三日電。各省於廣田首相處。提出三十餘件國策案。去十八日以來。經吉田調查局長官。督勵各調查官。審行審查。乃兩三日中。大體決定重要國策之項目。而後開三長官會議。[illegible]

中央飛機 威嚇飛行

廣東二十二日電。蔣介石[illegible]行云。

氏。乘廣東平定之勢。去二十日。命廣西當權者李宗仁。白崇禧兩氏。軍事行動即時停止。中央服從並速下野。又中央軍飛行機數十臺。二十一日以來在廣西省內。盛作威嚇飛行云。

來七月末。經育駐在井上商務官。月賜暇朝歸。將聽報告米國朝野意見。積極的設法對處云。

現銀協定以外 再無所謂協定

國府孔財長不說明內容

二十二日電。蔣介石[illegible]須磨南京總領事。致報告。謂二十一日。訪財政部長孔事。求將近來所傳成立之協定內容。正式右該部長答以陳光甫在米國訂現銀所關外。最近米華間。一協定。陳氏所謂米華只爲現銀授受之規定。

臨時樞府 本會議

[illegible]

東株取引員外交員 新場橋署引致究辨

一論言嫌疑福岡亦檢擧二名

[illegible]

日米通商 委員會設置

外務當局方面

[illegible]

颱風警報 米價轉昂

[illegible]

四等蓬米 內地全不顧及

本年米質不良。如臺南州上米及高雄州米。多四等米。北部四等米比較多數移出商雖欲極力資出內地奈瞬者寥々。殊如南部四等米。內地全然不要。與三等米相去四十錢。正市格付雖僅差十五錢。而實際買賣差至四十錢。與其賣出內地。不如賣於正市。爲此南部四等米。多賣於市場。買派受此重壓。不

諸株急騰

惡材料出盡

二十二日[illegible]取引所改革流說。人氣動搖。臨休中接當局否定的聲明。人氣稍歸平靜。二十二日開場穩健。然尚有一沫不安。兩者間於不言不語之中。受深刻衝動。買氣全然萎縮。投賣繳出且新東大新等之買派。賣新鍾。日產其他以爲保險前場中半至大引。諸株各落一、三圓。然取引所改革案。實際問題無實現性取引所株以外諸株無影響東株市場。至後場投物已盡諸株賣買俱少。否極泰來。惡材出盡。新規賣物及賣派急食利。俄然反騰二十三朝諸株穩健續起。

青果會社長 本山氏認可

臺灣青果會社々長。依該社定款。由取締役中互選經督府認可。去二十二日該社川島專務。池田取締役。落俟常任監查役。訪問平塚總務長官。申請認可本山文平氏爲社長。督府當局。即時爲之手續。同二十二日發指令。又新任之本山氏。不久欲渡臺旧能積極的出資。期米雖貴落莱米却軟調云。

警務部長會 諮問事項

現下社會情勢緊迫。警察機能。要加一層整備緊張爲達成此目的。其最效果的。在于警察制度改善完備。定訂來二十四五兩日召集五州警務部長。三廳警務課長。開全島警務部長會議。無忌憚互陳意見以資本島警察制度之完備。而兩日議論中心之諮問事項如左。

鑑于現下內外情勢。于本島警察制度上。認要改善

下米穀之耕作面積及收穫額。消費量等。基本調查經于二十一日。派各係員向各方面着手。按于八月中旬完了。一面米穀統制組合。由地主及佃人組織共達七、八千名。將設統制倉庫。並實施生產米之處分云。

地方長官會議 初日議產業問題

注意事項一瀉千里

全島地方長官會議。二十二日午後一時半。續午前再開。首入殖產局提出之指示事項。而關特殊作物獎勵。一番瀨農務課長。方說棉作爲有望。內海知事對此質問棉作果有望耶。一番瀨課長答以確有望。次就投下二百七十萬圓巨費。互十箇年間調查研究結果。漸得成案。自本年入實施期之森林施設案。日下藤田兩知事。與督府問。交換意見如左。日下臺中州知事問全島各地存在大學演習林。有無整理必要。小濱內務局長答以來年四月。施行國有財產法。欲于此機會整備。日下知事問要存置不要存置林野區分。並保安林之設定。其實取締及利用均不周。實地善爲吟味。爲之利用取締如何。殖產局答以現就山地利用開發調查中。故欲確立林野之利用。取締等所開之林政。中央要與地方協力而對林野施設。于是意見一致。最後由藤田臺南州知事就森林施業案實施樹木伐採等。期無害及國立公園之風致。要于分連絡。開陳希望意見。指示事項告畢。乃就注意事項時無特殊質問或意見。一瀉千里。初日々程。于午後四時四十分閉會。由是一同臨席總督官邸晚餐會

中川總督 宴地方長官

中川總督。于二十二日午後六時半。招待出席地方長官會議之五州三廳長于官邸。開晚餐會。出席者今川。增田。日下。藤田內海五州知事。藤村。大磐。福元三廳長。主人則中川總督。陪賓則平塚長官。各部局長官房各課長等

花蓮港廳下 米穀統制 基本調查

花蓮港廳農務課。爲米穀自治管理法。近將實施。爲此準備工作。將對該廳

航空無線標識局 將設於宜蘭郡壯圍

經得地主諒解近將興工

宜蘭地方。爲本島定期航空東部線要衝。基由宜蘭街民。報國熱誠。創設宜蘭飛行場。經舉開場式。後屢次報道。茲更欲在該郡下。設置航空無線標識局。已見最後決定。場所略定在宜蘭郡壯圍庄七百三十六番地。敷地豫定一甲內外。而去二十一日。更由遞信部工務課口原屬。及州廳萩原屬。李測量技術員等。一行五名。出于現地測量。一面該豫定地。共約十筆。爲此買收事宜。亦于是日。招致各地主於郡役所。由園田庶務課長及萩原屬。說明國家的施設之必要。並求諒解。而地主一邊。咸理解現下國防情勢。對此國家事業。無一異議。均當場捺印承諾。故當局將急興工建設云。

彰銀總會 廿四日開會

彰化銀行第六十二回定時株主總會。訂來二十四日午前九時。開于臺中市民館。附議事項。十一年度上半期利益金分配件外二件。本期上半期利益金三十一萬千八百九十圓餘。其中諸償却十四萬三百九十圓餘。扣除外利益金十七萬千五百圓。而株主配

內柵新舊溪洲之水

保正等六名到郡陳情

大溪郡大溪街。久旱不雨。壓來頻々乏水。開當現當插秧期。當地農民異常困苦。如內柵新舊溪洲一帶之水田。凡數千甲。向來全靠大嵙崁溪上流水源灌溉。後爲設圍大嵙開陳情。[illegible]

新竹鄭神寶氏 違反阿片令 留置查究

新竹署。去二十一日。檢與阿片密吸者州協何友家氏。留置究問。翌二十二日下午二時。有田邊司法

役任滿改選云。以外議會。仍舊年五分。中津兩取締

火柴專賣臺灣易行 且籌製無水酒精

火柴(燐寸)專賣問題。風說頻聞。內地因製造會社濫立。雖欲買收而歸諸政府掌中。奈財源缺乏。及買收技術關係。實爲難事遂援取簡便課稅制度。即軸木百本。豫定課稅五厘然臺灣與內地事情有異。不設製造會社。全仰內地移入。此際專賣似非困難蓋不必買收會社。將從來買賣業者。指定爲納入者或仲賣人便佳。如爲製造專賣。則原料由內地移入。將來乃課臺灣產原料之自給自足亦未可知。以木麻黃及楓。可爲軸木。惟臺灣移入火柴(約四百萬圓)。島內消費之外。有中繼輸出於南華方面者。兩者各半若因專賣。以致不能輸出南華則不可。此點專賣局當以低價賣出。以維持輸出貿易。[illegible]

製造無水酒精。與中研工業部。十分連絡研究。以期萬全。夫本事業之實現必須根據法規。若非商工省。發布揮油中。使之强制混入無水酒精之法律。則臺灣難爲專賣事業也。

屏東煙草移民 兩小學開校

屏東郡下。本年度煙草移

振興懇談會

懸案中之大溪街登記所設置。商工銀行復活。並大溪。中壢。三峽間二線乘合車交通編等三大問題。大溪街街民。認爲目前急務。茲由溪壁俱樂部。主開大溪振興案爲題。東邀官民二部開座談會。聽取意見。然後別組有力團體順次進行工作。經得郡街兩當局之後援。決訂來二十六日(日曜)午後七時。開於街公會堂云。

日角用武 以秤棒撲殺

高雄州鳳山郡大樹庄九曲堂二〇七農大周其祥。年四十三。與同庄小坪頂三八〇黃東元。年三十一。去二十一日午後五時。在周家附近甘蔗園。爲鳳梨收穫。口角之餘。周用秤棒毆打黃數處重傷後。直到九曲堂派出所自首。被害者即時入屏東醫院。應急治療。因出血過多旋死。現以過失致死嚴究。

嘉市氷仲賣 組合創立 總會詳誌

嘉義市內各氷業者。因數年來。外氷侵入競爭。及內訌。各店幾於不能收拾今回得會社當局之應援。創設市內氷仲賣人組合。去二十一日午後三時起。在嘉義警察署會議室。開創立總會。伊東署長。士岐行政主任。氷會社小西專務。山口。高里。兩販賣主任臨席。組合員二十名。會開。報告組合創立經過。後選議長。審議組合規約三十一條。原案多少修正後可決。次役員票選。以施天福氏爲會長。副組合長飛永勘吉氏。外評議員五名。至七時許。由伊東署長訓示後閉會。

之意見如何。

主任外刑事二名。赴新竹醫院二病棟第一號室。求入院中之鄭神寶氏。年五十五。與之同行。到署查究。彼留署。聞氏有阿片食許可。而于自邸內。使無許可密吸。或再製阿片等。證據件。被押收不少。又鄭寶氏。因恐其之事件。其妻被檢擧後。覺身邊危險。藉稱血壓昂進自五月六日以來。入新竹醫院云。

憤婦薄情傷其一家 一名即死二名重傷

去二十二日午後四時半頃羅東街羅東二百五十八番地。方氏阿幼。年三十二及其姪女方氏烏毛。年十七。養女方氏綉琴。年十五。在其家中。被住所不定者林綵麟。以菜刀砍傷就中綉琴。因被自背後。力斬後頸即死。而阿幼及烏毛兩名。亦均重傷。兇手隨到羅東郡警察課自首現由安部刑事主任。嚴重查究中。據聞行兇原因。爲加害者。自客年七月。即與阿幼同棲。但近失職阿幼遂每欲乘機逐出。亦曾提出告訴。日前阿幼。率烏毛及秀琴。逃匿于三星庄。是日午後三時。再歸羅東。欲逐出綵麟。而將其家貸與他人。是以綵麟一時大怒。因執菜刀。傷前記三人。阿幼隨到其兄所經營永安醫院治療。後因傷勢頗重。現在危篤。烏毛則仰受永安醫院治療中云

氏。全戶數百六十五戶中。百四十戶。業已移住。尙剩二十餘戶。而移民住宅已建築百餘戶。其他四十餘戶。按本月末竣工。又將新設之小學校。現在土庫及武洛兩部落建築中。兩校均按九月中完成。同時配置教員。豫定十月一日。舉開校式云。

林氏被人告訴。莫不同情之。林氏即將差押日錄對照之。不動產及株券約有一萬二千圓。在庫品約二萬九千圓。帳項未收金約一萬三四千圓。計金五萬四五千圓。而林氏欠商人債務者。約四萬餘圓。尙有一萬餘圓餘裕。林氏以原告人等所爲。有毀損其信用。決對原告。提出名譽毀損告訴。徹底的與之爭較云。

被人提出倒盤告訴 實則以急病入院

云將徹底的與之爭較

臺中州豐原郡豐原街日用雜貨商行新源盛主人林萬山氏。本年一月中往南部採辦商品。途中突起急病入臺南某醫院治療。院主言明。非靜養數日間不可林氏無奈在臺南靜養。然其間商人[illegible]後歸家。不肯之應。其後梁安慈外諸氏。即提出詐欺倒盤告訴。及差押林氏所有財產。及在庫品。事件由州刑事課坂口搜查係長。召關係者。取調詳細。告一段落。將文書轉送於檢察局。檢察官。亦召原被告審問明白。定二十五日開始判決。據聞林氏自與諸商人買賣。皆向銀行取引。信用頗堅固。未曾被銀行督促過期。一般[illegible]

內地少艾 與島人情死

父母不許結婚

二十二日東京特電。去二十一日朝。東京市四谷區旭町。旅館豐島屋。有洋裝美人。被人絞殺。經所轄署調查。知該女係群馬縣。高村金一郎之次女々子。年二十一。絞殺之人即女之愛人。臺南市入船町二丁目。陳宗正。年二十八。而陳于同日下午六時半。飲下劇藥。在戶山原。苦悶中。被發覺。未幾絕命。原因爲兩人。早已戀愛。誓欲白頭。因双方父母不許悲觀。去五月中。亦曾在伊香保。情死未遂云。

毛珠案株連 四十餘名 尙進行搜查

既報臺南州刑事課川野刑事係長。自一週間前。帶同刑事來嘉。指揮嘉義署郡刑事。搜查毛珠犯人。經捕縛關係者四十餘名。其事件關係範圍。爲嘉義市郡及北港。東石。虎尾各郡。並高雄地方。首魁嘉義郡水上庄湖子內人羅盛。聞自昭和六年。至今凡六年間。繼續犯行。其關係方面。尙進行搜查中云。

蔡翁高三氏 救人受賞

嘉義郡中埔庄鹽館人蔡翁及同庄石頭厝人翁大牛。高文龍等三名。去六月九日豪雨。在溪谷中拯救翁石波。今回由臺南州藤田知事。以三氏救人有功。各贈以金一封。而褒賞之。按二十四日午前十時。在同郡警察課會議室。由梅澤警察課長交付之云。

澎湖

主催講習

暑假中澎湖本廳。主催國語講習會。自七月十六日起。至今月二十二日止。計一週間。講習所假小學校講堂。講師爲臺北第二中學校教諭中尾榮治氏。講習員計五十名。爲本島人教員云。

漁業許可

本廳下發達遲滯。例年收成額無多。所入不敷所出。所有日食種米。必藉以資爲補助。惟有海面一項。一望無際。若得本廳漁業許可權。即可到處圍捕。近年來得本廳諒解。獲得許可權者甚多云。

用許定全員會。

東港

區總代會

東港街。月二十一日午前九時招集區總代十七名。在東港街役場樓上會議室。開區總代會附議事項。爲昭和十一年度前期分戶稅徵收成績所關。納稅成績向上。納稅通知書配付後之狀況調查等件。

信用評定

東港信用販賣購買利用組合。月二十五日起。二日間。在組合事務所。招集信用評定委員開昭和十一年第一回組合員信

火燒島事件 犯人教員 費消十二圓

臺東郡火燒島郵便局出張所。發生剪破赤行囊。竊取二千餘圓事件。經臺東支廳。苦心搜查。至二十一日下午五時。始檢擧真犯人。即爲役場書記李再喜。年二十九。之實弟。[illegible]

洛陽龍門

撫談

洛陽之南有龍門。世俗每誤爲大禹所鑿之龍門。實則大禹所鑿之龍門。在山西河津與陝西韓城間。所謂「導河積石。至於龍門」者是也。其地水險。魚不能上。故有上則爲龍之語。至於洛陽之龍門。原名伊闕。就其形勢觀之兩山。乾立相對伊水從夾岸中南流。極似一山裂而爲二。香水以者然。東爲「香山」西爲「伊厥山」亦稱「闕塞山」。洛陽縣志云明塞山一同伊闕。俗名龍門。洛陽爲佛教發源地。所惜佛教建築。大都頹殘。獨於今之龍門。猶能一二。伊闕爲石山。石壁高峭。崎嶇不平。依其形勢。洞鑿佛洞。有黃陽洞。千佛洞。萬佛洞。蓮花洞。八躍洞。老君洞等。洞口大如門。入其中。則如置身宮殿。四周石壁。遍刻小佛。幾無隙地。佛之小者。僅三數寸。其大者可三丈有奇。唯因年遠多殘蝕。小佛中。人手所及者無首。爲妄人所竊也石壁多碑碣。其間石刻造像。唐代外。爲北魏者。有五百餘種。內有最稱者二十品。魏中康有爲對此二十品之碑碑。營拓本甚多。名爲「龍門二十品」爲之讚。一日魄力雄强。二日氣象渾穆。三日筆法跳越。四日點劃峻厚。五日意態奇逸。六日精神飛動。七日興趣酣足八日骨法洞達。九日結構大成十日血肉豐美。工人摹拓。須架高棚。方能及之。他如役入輪資題字亦甚多。營地寺宇。因逃年飢饉。多已失修。斷柱頹垣。映以夕陽返照。若不勝其慘痛云。

商況(廿三日)

米況

正米市況前場

	當限	中限	先限
二期蓬萊米	一〇、七五	一〇、七六	一〇、八〇
	一五	七七	八一
	二六五	七八	二五五

▲二期在來米 [illegible]

期米

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戶期米前場

[illegible]

株式

大阪短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

公債

東京國債前場

[illegible]

東京銀行賣株

[illegible]

紐育株式

[illegible]

神戶蘭貢米

[illegible]

外國爲替相場

[illegible]

肥料

シカゴ麥

[illegible]

神戶豆粕

[illegible]

砂糖

大阪現物

[illegible]

大阪濟糖

[illegible]

銀塊

[illegible]

絲況

大阪綿絲

[illegible]

大阪人絹

[illegible]

大阪綿花

[illegible]

橫濱生絲

[illegible]

臺灣日日新報

土木工學大講座

この美装この廉價、この内容この正に土木界驚異の大講座、躍進土木日本の一大指標として空前の大盛況を博した實驗土木工學の大全集は是れだ

内容 ▼全十八卷・菊判四百頁 内外・特製大豪華版
見本進呈 ▼申込金不要 ▼會費月二圓五十錢

第二回配本 鐵道工學 黒田武定 岡田信次 共著

机上學究の企及し得ざる實際的解説!

[redacted]

見よ!堂々全十八卷の偉容

又々大増刷の第一回配本! 鐵筋コンクリート設計法 永田年著

第三回配本 八月中旬刊 河川工學 宮本武之輔

機械工學大講座

高級にして完備せる劃時代的大講座!面目を一新せる新装新版出づ!

第一回配本 蒸汽機關 第二回 舶用機關 工作機械

▼全十八卷 ▼申込金不要

電氣工學大講座

廣汎精緻!各專門の蘊蓄を傾倒された高等電氣工學の一大

體系 誘導機械 電信 無線通信 テレビジョン

▼全二十二卷・内容見本進呈 ▼申込金不要・會費月二圓八十錢

東京神田駿河臺 アルス

大阪商船 出帆

近海郵船 出帆

辰馬汽船 出帆

大連汽船 出帆

ひぜん病 全治水

ボンポン

婦人倶樂部

八月號 賞品當發表の大懸賞が偉い評判!!

美術大附錄 六大畫伯傑作 (花鳥 山水 美人畫) 色紙六枚

大附錄さへ大評判

現代一流大家の傑作色紙を六枚、實物その儘の極彩色高級印刷として全讀者に贈呈!何れも容易に得難い名畫揃ひで豪華無比!

華やかといひ揮柄といひ、お部屋の裝飾として誠に相應しい逸品揃ひで、素晴しい評判の袋入附錄!!

● 灯影(美人畫) 伊東深水先生
● 游魚(山水) 金島桂華先生
● うす物(美人畫) 木谷千種先生
● 巣立ち(花鳥) 廣田百豐先生
● 秋晴(花鳥) 福田平八郎先生
● 嵐山流筏(山水) 八木岡春山先生

あなたの戀愛!結婚!夫婦生活の幸福の爲にぜひお讀み下さい!

夫婦新道 結婚

▲オリンピック選手の奥様訪問
▲養老院を營む岩崎善衛門氏の人間物語
▲醫學博士竹内茂代女史と和田邦坊の漫畫問答

物凄い評判!小説欄の大壯觀!!

長篇小説 合歡の並木 加藤武雄

▲戀無情!糕子の悩 母の曲 吉屋信子
▲興味絶頂 時代小説 無明有明 吉川英治
▲戀は悲し 處女哀史 新月抄 久米正雄
▲悲戀三巴 家庭悲劇 片羽鳥 川口松太郎
▲純愛小説 母を呼ぶ 諏訪三郎
▲滑稽小説 花嫁

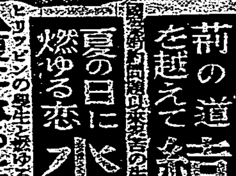
大評判の本文 大特輯

簡單に出來る家庭染色獨習

手輕に經濟的に、有合せの道具で誰方にもスグ出來る家庭染色の誌上講習で素晴しい評判!

絞染の絞り方 絞染の染め方 浸染の仕方 色拔きの仕方 ▲木の葉染の仕方 ▲植物天然染の仕方 ▲板締絞の仕方 ▲更紗染の仕方 ▲蒸しのかけ方 ▲家庭染料に就て ▲摺込染の仕方 ▲湯伸しの仕方

(應用製作品)



小學生 中學生 女學生 夏休の有効な過させ方

▲荊の道を越えて結婚した黒田雅子さんの手記
▲夏の日に燃ゆる戀 水久保澄子さんの國際結婚
▲夏になると思ひ出す思出

夏の病氣の豫防法と手當法

おけさの島 佐渡の娘さんの座談會

毎年重寶する日傘集止新工夫

溺死の愛兒を親の一心で救ふ

パラソル利用の婦人護身術

女中さんの(べからず讀本)

夏の姙婦と安産の心得

盛夏用の子供遊び着四十種

夏の家庭料理二十五種

美味しい夏の簡單漬十五種

一流の人氣スター!實演!

流行歌謠寫眞大畫報

歌劇花形 春野八重子苦鬪物語

定價五十錢

東京小石川 大日本雄辯會講談社

無水酒精の大量生産に就て
バガス利用と製糖工場電化

一

臺灣の製糖業が非常時の今日國家的に極めて重要な地位を占めその使命の益々重大化して來た事は今更說明する迄もない事である、夫のガソリンに無水酒精を混入させる爲めに現在で無水アルコール年百二十萬石の生産を必要としその半分六十萬石を臺灣で製造させんとする我が政府の方針については當局にて慎重調査を進め種々調査することろあると共に各製糖會社に於ても愈々準備にかからんとしてゐる模樣であり即ち六十萬石の無水アルコールを新に得んとすればそれを甘蔗の汁より直に製造するとして約一萬甲の蔗園を要するとされてゐる、又總督府中央研究所の研究によると甘蔗の搾り粕たるバガス一噸から無水アルコール七十の製造可能であると云はれてゐる、臺灣のバガス年産約七十萬噸としてその全部を無水アルコール化するとせば四十九萬石、又その半分三十五萬噸では二十四萬五千石の無水アルコールが出來る計算である。

二

バガスによるテツキス及び製紙事業の勃興に連れバガスの利用價値が高まつて來た折柄、更にバガスから無水アルコールが採れることになり而もそれが採算的に引合ふやうになれば正に非常な福音である、製糖會社としては從來バガスの大部分を製糖燃料となし尚且つ補助燃料として石炭を消費してゐたのであるが、工業原料としてバガスの利用價値が高まつて來た以上製糖會社に於ても之を唯た燃料として燃してしまふことなく出來るだけ燃料の節約を圖ると共にバガスを剩るやうに工夫し進んでは工場を出來るだけ電化しバガスを無水アルコール其の他の工業原料に振向けることが緊要ではあるまいか

三

現在製糖工場では一部分電力を利用してゐるところもあるが、機械の多くは既に二十餘年を經過し今からみると寧ろ舊式に屬するものが尠くないのである。蒸汽を得る爲めにボイラーを設置するはまだしも、壓搾機を動かす爲めにも燃料による動力に頼るが如きは正に時代遅れである、製糖業者としては近き將來の事を豫測しバガスの利用等をも充分考慮に入れ機械設備の改造をなし能ふ限り之を電化すべき時期ではないかと考へる、殊に各社共近年業績頗る順調にして每期相當利益を擧げ舖和積立等による社內保留金も豐富であるから此機に於て工場を時代に向くやう改造することも比較的容易であると云はねばならぬ。

四

バガス工業は曾て昭和製糖の前身たる新興製糖が二結に於てバガスを原料にパルプ製造を試みたるを嚆矢とし之れが不幸失敗して、中絶してゐたのを昭和の創動振ともいふべき三亞製紙を經てバガス工業試驗所が創立されテツキス及紙の製造漸く成功の域に入らんとする時、臺灣紙業會社が創立され引續き南條會社臺灣興業の創立を見、同事業を繼承して今や是等より更に豐富にして永續性に富むバガスを尊重して益々紙業の發展に邁進してゐる狀態であるが、バガス工業に先鞭を着けた昭和製糖は流石にバガスの將來を豫測せるものか現に能力擴張工事中の玉井製糖所を悉く電化することになり他社設備では正に各社工場に魁けするに至つたことは頗る注目に値する英斷と云はねばならぬ。

五

無水アルコールの大量生産の爲めにも今後製糖工場や酒精工場の增設乃至能力擴張が期待されるが業者としては此の情勢と結び付けてバガスの工業原料化を促進する一助として製糖工場の電化に邁進し新設工場は勿論、在來の工場にも大改造を爲し蔗糖産業の國家的大使命に副ふやう益々一層進んで長期方針を一新すべき時期ではないかと考へ此の機會に敢て業者の注意を促がさんとするものである。

太平洋集中を改め
歐洲艦隊復活か
大西洋の彼方暗雲低迷すと
米國新形勢に備ふ

【ワシントン二十二日發同盟】アメリカ政府は一九一九年以來大西洋上には獨立艦隊を常置せず海軍の全力を擧げて太平洋に集中してゐるが、最近歐洲の情勢險惡化として不安增大する傾向あるに鑑み、再び歐洲水面に常設艦隊を復活し一九一八年以前の原狀に復歸する意圖と見られる、既に今次スペイン內亂に當つては政府は急遽練習艦隊所屬の主力艦オクラホマ號及び甲級巡洋艦クインシー號に對しジブラルタルへ急航するやう命令したが、ハル國務長官は二十二日記者團との會見で右兩艦のスペイン派航及び歐洲常設艦隊復活につき質問したに對し左の如く述べた

現在の樣に歐洲の情勢が惡化してはアメリカが歐洲水面に艦隊を常設してゐないのは甚だ不都合である、故に結局歐洲艦隊を復活し地中海、東部大西洋方面に艦隊を常設する必要に迫られるかも知れない

力強く叫ばれた
行政機構の改革
地方長官會議終る

地方長官會議は前月に引續き二十三日午前八時から開會、諮問事項の答申に入つたが、答申は上は建國神社の御祭神の問題から下は稅務出張所の獨立に至る多岐に渉るものであつたが就中地方財政確立教育費國庫補助の增額が例年通り叫ばれた外に、內海高雄、日下臺中、藤田臺南の三知事其他によつて總督府並に地方廳の行政機構の改革が力強く叫ばれたのは庶政刷新會議に相應しく注目を惹いた、地方長官の答申の大要は左の通りである

今川臺北知事

△國民精神作興の爲神社の建立に努めて居るが之につき個人的意見であるが臺灣神社の祭神に天照大神を一柱御加へ申度いと考へて居る

△現行行政區劃は大正九年以來のもので其後情勢も變化して居るから例へば、松山庄を臺北市に八里庄を新莊郡にと云ふ如く更めて適當に檢討して行政區劃を變更しては如何

△國語講習所の內容を公學校程度に引上げられ度し

△中等學校の增設は急務であり理想論を云へば現在の州下の十校を倍にし度し

△市立中等學校設置の途を拓かれ度し

△內容優秀な私立學校には資格を付與し、然らざるものは學校類似の名稱を用ひる事を避けしめ度い

△山地開發には道路の開鑿を第一義と信ず

△道路鋪裝にも國庫より補助され度し

△淡水港は築港と迄行かぬまでも工業港として利用が出來るやう施設され度し

△地方財政に餘裕あらしめる爲に彈力ある財源を付與され度し

增田新竹知事

△教學刷新を加へ智育偏重を避け國民精神涵養を主とする如く小公學校の教育內容を改善され度し

△二分の一を目標に初等教育費國庫補助を增額され度し

△府立醫院を地方に移管され度し

△山地開發には地質調査（鑛物の開發）に力を注がれ度し

日下臺中知事

△本島を工業化せよ

△地方廳に財政部を設置され度し

△學校職員其の他の共濟組合を設けられ度し

△貧弱街庄救濟の途を拓かれ度し

△現在の信用組合は組合本位に過ぎ公共的使命の徹底を缺く傾あるを以て公共的に改められ度し

藤田臺南知事

△地方廳に產業部を設置され度し

△地方視學官を置くか、少く共現在の視學の地位を向上され度し

△地方財政の改善を圖り民力に應じ彈力ある財源を與へられ度し

△義務教育實施準備調査會を設置され度し

△中等實業學校の增設を希望す

△實業補習學校教員の養成所をつくり夫等職員の優遇を圖られ度し

內海高雄知事

△行政機構の改革として西部を三州、東部を一州に改め高雄に南部の一廳を置かれ度し

△港灣の修築其他に付今少しく地方長官の權限を擴張され度し

△遞信部と鐵道部を獨立させ、內務局、文教局を併合し社會局とし、山林課と營林所を合して營林局を設け、道路港灣課を內務局土木課に合併し法務課を局に昇格せしめ局長を置くか、夫が都合惡ければ局長は高等法院長の兼務としてもよし

△新竹、高雄法院支部を獨立せしめられ度し

△稅務出張所を獨立させよ

△地方廳に產業部を設け

△道路法を施行し、國と州並にその他の團體との負擔區分を明にされ度し

△教育費の國庫負擔を增額せよ

大磐臺東廳長

△教學刷新委員會を開き學制全般につき改革の根本を調査され度し

△山地開發と蕃人下山を有機的なる如く攻究され度し

藤村花蓮港廳長

△廳制を改正され度し

△新聞雜誌の濫發行につき適當の對策を樹立され度し

△更道刷新に付ては官紀、綱紀の推持の外に官吏は民衆の要望を察して事の進捗を圖る氣持が必要では無いかと思ふ

△公共用の文字は國語を主とする事に改められ度し

△濁水溪の架橋と河川整理をされ度し

△縱貫道路の鋪裝は急務と信ず

△內地の耕地整理法に代るべき土地改良に關する法規をつくられ度し

△無斷開墾地を整理せよ

△祭祀公業の改善を圖れ

△體育改善を圖るには選手制度に改善を加へ全島體育を方針とされ度し

△演劇の改善を圖られ度し

△學校職員共濟會の設置を望む

福元澎湖廳長

△書房の對策を樹立せよ

△東部の地質調査を行はれ度し

△馬公港を修築され度し

△澎湖神社を昇格せしめられ度し

之を機會に
庶政を一新
會議後　中川總督語る

地方長官會議終了後中川總督は官邸にて左の如く會議の感想を語つた

刻下の非常時局に際して帝國南進、國防第一線の臺灣の使命を完遂せんとする熱誠溢るる議論多く兩日の會議を通して時局の氣分が充滿して居た事は心强く感じた、就中庶政刷新、國民精神作興が力強く叫ばれたのは大いに參考にもなり且つ躍進臺灣に相應しい地方長官會議であつたと思ふ、之を機會に庶政一新更道更張に邁進し度い

以上を以て答申を終り

平塚長官 起つて

諸君の意見は既に豫算に計上して居るものもあり現に考慮中のものもある、中には重要國策として拓務省に提出してゐるものもあり、夫等の實現には協力され度い、其他の意見は非常に參考になつた

中川總督 より

訓の挨拶あり、續いて期間は極めて短かつたが熱心な討論審議が行はれたのは感謝にたへぬ、各位の意見は出來得る限り實現させ度いと思ふ、政治は各自がその地位に於て最善をつくす事によつて效果が擧るものであるから各位は各々その地位によつて徹底的にやつて欲しい夫が庶政刷新を期する所以でもあらう、斯くて中央地方が協力して始めて全般の改善が望み得るのであつて刻下の非常時局打開については各自の權限に於て最善をつくして遺憾無きを期せられ度い

と述べ之に對し日下知事一同を代表して挨拶を爲し二日間に亘つた意義深き地方長官會議は午後一時過ぎ幕を閉ぢた

地方長官招宴

二十三日午後一時地方長官會議終了後地方長官は鐵道ホテルに於ける赤十字支部・愛國婦人會主催の午餐會に臨み、夜は梅屋敷に於ける臺灣銀行の招宴に臨んだ

颱風に見舞はれ
遅れて蓬萊丸入港
海軍省の原田大佐來臺

【基隆電話】大阪商船蓬萊丸は暴風雨に遭遇した爲め遅れて二十三日午後二時半基隆港外着、船客七百六十六名、知名者は田中基隆重砲兵聯隊長、海軍省軍事普及部第二課長原田大佐、星野專賣局技師、山田日本棒腦研究部長、林熊光氏等であつた

原田大佐談

聯合艦隊が近く御厄介になるので連絡打合せの爲めやつて來た序でに島內各地を視察し樣と思つてゐるが、臺灣在任者に最近國防に對する認識を深められた事は甚だ嬉しい、各方面からの國防獻金に就いて「自分も兵隊になりたいがなれぬからせめて些少の獻金によつて御國に盡したい」と云ふ樣な血の出る樣な手紙を寄せられる、帝國南端の國防並に南進政策については今日既に言語の時期を過ぎ實行期に入つてゐるが、南進政策について外國を刺戟する樣な事は努めて避け不言實行と云ふ事に援助を望ましいと思つてゐる

田中大佐談

西森隊下の大演習を見て來たがこは一切話せない、同地の帝畜については全く氣の毒であるが本年は今後の天候さへ順調なれば相當の收穫はあると云はれてゐるが、その附近の人は非常に惠まれてゐる

星野技師談

內地における樟腦關係者は新しい施設を視察して來たが臺灣も相當進んでゐるから特に參考になる樣な所もなかつた內地でも大分出來る樣になつたが臺灣のは外國向きだから影響はない

革命軍首都に迫る
政府軍を粉碎して

（マドリッド二十二日發同盟）革命軍主力五萬は政府軍を粉碎、首都を距る三十五哩の地點に達したと謂はれる、マドリッド市は食糧缺乏、餘す所二日分と見積られてゐる

空中戰を展開
海軍と革命軍間に

【ジブラルタル二十二日發同盟】スペイン海軍は二十二日午後よりセウタ附近に於ける革命軍に對し猛烈な積極的活動を開始し有力な空軍を動員して猛烈な爆擊を加へた就中海軍機二機はマラガ軍港から長驅ラリニアに於る革命軍の本據を衝き主力艦ハイメ一世號の艦上機數機と協力空中から機關銃の猛射を浴せた、之に對し革命軍も機關銃其の他で應戰したが更に空軍も出動數十分に亙り入り亂れて壯烈な空中戰を演じたと謂はれてゐる、右空中戰に際し政府軍は誤つて爆彈をジブラルタル要塞地帶の火藥庫附近に投下した爲め一萬五千の避難民は極度の恐怖に襲はれ要塞司令部では砲兵隊に嚴重警備を命令した

立會休止問題で
政府に警告
政友總務會で決定

【東京二十三日發】政友會では二十三日午前十時本部に於て總務會を開催、黨の更生、强化を期する組織改革の具體策として黨務部と政務部に改める事に決定、同取引所立會休止問題に關聯して內閣調查局の越權行爲で屢々庶政一新の方針を妨害する事實あるに鑑みて將來斯る事なきやう政府に嚴重警告する事に正式決定した

モラ將軍は
戰死か

【ベルリン二十二日發同盟】革命北軍總司令モラ將軍は二十二日サンセバスチアン爭奪戰で遂に戰死を遂げたと傳へらる、同將軍の戰死は優勢を誇る北軍に大打擊を與へるであらう

英汽船の積荷
實は木材

【基隆電話】二十日基隆入港、[illegible]

商工興信所認可

【高雄電話】高雄市[illegible]川上六百藏氏はかねて高雄に於て商工興信所を經營すべく出願中であつたがこの程當局の認可を得たので高雄市湊町三ノ四に開所し二十三日市內各方面に挨拶廻りした

經濟的進出の猛烈な事を物語つてゐた

警務部長會議
けふから開く
赤木拓務省警務課長も列席

現下內外の情勢に適應するやう警察機能の刷新、擴充に關する意見を徵し躍進臺灣の警察機能の完備を期する全島警務部長會議は二十四、五兩日總督府に於て開催される、目下來臺中の赤木拓務省警務課長も列席すべく上改善を要する點に就いての意見の開陳は時節柄非常に期待されてゐる

樞府本會議

【東京二十三日發】臨時樞府本會議は二十三日午前十時四十分より宮中東溜の間で　天皇陛下親臨の下に開會、一、重要產業統制法改正勅令案を上程し採決の結果異議なく原案通り可決　陛下入御あらせられ午前十一時二十分散會した、依つて政府は同案の御下裁を待つて閣議で正式決定の上、上奏御裁可を仰ぎ八月一日付官報をもつて公布即日實施の方針である

內奏
定期異動
陸相參內して

【東京二十三日發】寺內陸相は二十三日午前十一時宮中に參內、天皇陛下に拜謁四日付けられ陸軍定期異動に關し內奏御裁可を仰ぎ退下した、依つて近く內命を發せられた上發令される筈である

荒勝教授離臺期

京都帝大理學部より招聘され同學部教授に轉任すべき臺北帝大理農學部荒勝文策教授は近く離臺する事となつた、同荒勝教授の後任者は京大理學部の某助教授が交換的に內定してゐる由

天皇皇后兩陛下
葉山へ行幸啓

【東京二十三日發】重大時局のため例年よりも御避暑を遅れさせせられた天皇、皇后兩陛下には二十五日午前十時四十分東京驛御發車葉山御用邸に行幸啓あらせらるる旨二十三日仰出された

臺灣の化學工業・座談會 ④
無水アルコールの製造も面白から〻
天然ガスの利用方法

加藤　池田君は一時天然ガスをやつた事がある樣だが特に御意見はありませんか

池田博士　天然ガスから手を引きましてからもう長い事で意見を申上げるのも烏滸がましい事であり、又天然ガス研究所の方で充分お考へになつて居る事でありますが門外漢として申上げる事にいたします。天然ガスの利用で一番大きなものは水素の製造と無機肥料の製造[illegible]かと思ふのでありますが[illegible]水アルコールの製造が面白[illegible]

松野博士　[illegible]

小川　[illegible]

加藤　[illegible]

中塚　ワシビリチーを[illegible]

[illegible]作らなければならない、副產物利用をして色々の方面に何か製品を作らうとして色々な方に手が出て色々な製品が生れ出る天然ガスの問題でも水素を作りまして今度はそれを他所に運ぶとなると云ふ事になりますと非常に困難で、當然茲に水素を消費する新しい工業が出來なければならぬ事になる。若し天然ガスの中で水素を將來作ると云ふ事になりますならば[illegible]の水素ガスをその土地で處理する事の出來る[illegible]

[illegible]資源を適當に開發する事が必要になります

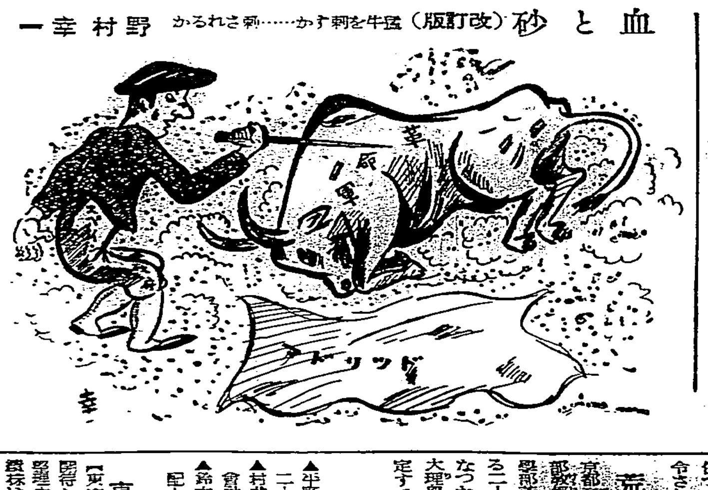
さうしますと服部さんの申されました樣に色々豪灣に天然資源があつてもその埋藏量が判然せずして居ないと云ふ事になりますと色々な點で不便を感じますから、結局今迄既にやつて居りますもののもつとよい利用方法を研究するのも結構ですが埋藏量の分らないものを同時に[illegible]調べて置[illegible]

座談會出席者

[illegible]

海峽植民地を
我進出を警戒
保護貿易政策へ轉

[illegible]



血と砂（改訂版）猛牛を刺す……刺さるか　野村幸一

人事

▲平野長一氏（大毎臺北支局長）二十二日內地より赴任（朝陽號）
▲村井幸思郎氏（兵庫縣川崎車輛會社技師）廿二日來臺（朝陽號）
▲鈴木茂德氏（臺灣電力嘉義支配人）二十二日來北（朝陽號）

東京株況後場

【東京二十三日發】取引所株の再開待ち氣構で高値は買物殺がず又整理中心の場面であつた、長期新鐘株は日清紡四十錢高新東八十錢方下押し人絹には帝人の一圓錢以外は二、四十錢の小動き、砂糖株又は一、三十錢の高々ながら概ね小圓い合みであつた、東洋株に[illegible]

清酒　白鶴　酒はハクツル　合北・近藤商會・臺南

內科　小兒科　入院隨意　臺北市本町三丁目三番地　樋詰醫院　電話五四七番

外科　醫學博士　河田直吉　基隆市義重町二丁目　電話六十八番・廣瀨醫院

島產　塵紙　お福　白松　黑松　助福山　山松　臺灣アルテックス製作所製紙部　電話七七二・四六五二・四一八六番

銘酒　楓白鹿

宴會に御家庭に喜ばれるアサシヲノービール　臺灣粗製類似品あり　大阪アサシヲ飲料株式會社

アルコールの話（完）

中央研究所技師 工業部長 加福均三（講述）

アセトンの製造

醋酸及び石灰より成る觸媒の上にアルコールの蒸汽を通すと條件をうまく調節しさへすれば大部分がアセトンに變化する。但此ものは現在では或特殊のバクテリアにより澱粉の醱酵によりブタノルと一緒に大量に製造せられつゝある

アルコールより醋酸

アルコールを先づエタナルに酸化して更に醋酸にする方法に二國ある其一はショーニガンにて實施されてゐる方法でエタナルの一定量を醋酸マンガンの存在の下に空氣で酸化させるのである。其二はヘルにて行はれて居る方法でこれはエタナルを醋酸にとかしそれを觸媒させつゝ

◇…空氣で酸化しながら少しづゝ醋酸を抜きとるのである何れにしても濃度は九五%位の醋酸であるが、更に分溜すれば容易に純度高き氷醋酸にすることが出來る。之等の工場の主要な部分は反應塔、洗滌塔及冷却器であるが腐蝕と云ふ問題が現在まで其の弱點として殘されて居る。ヘルの工場は年產一萬噸の能力で英國に於ける最新最大の工場で氷醋酸が英國で出來るのは今回がはじめてゞある。一方ピリンガムには斷續式の大規模工場もある。此製造工程で一番危ないことは反應室でエタナルが可燃性混合氣をつくることとペル醋酸と云ふ物質が段々蓄積して來ることである、元來此酸化反應はエタナルからペル醋酸を經て醋酸になるものらしく之をこしらへない譯には行かないが

◇…溫度が必要　以上に下がると段々これがたまつて來るので大變困るのである、此ものに就て其後色々研究されたが此ものは零度以上にかては液體で百十度に於て爆發的に分解する過酸化物なることが明かにされた

ブタノルの製造

アルコールからブタノル即ちブチルアルコールをつくるには四種類を必要とする。即ち先づ之をアセタルデヘイドに酸化し之をアルカリの存在の下に縮合して

◇…アルドル　に變化せし

醋酸エチルの製造

……

◇…最近の法に　於ては……

アルコールから食酢

……

◇…他の酸化物　……

アルコールの化學反應

……

◇…一酸化炭素と水素……

觸媒	ThO_2　Al_2O_3　W_2O_3　Cr_2O_3　SiO_2　TiO_2　Fe_2O_3　ZnO　MnO_2　MgO　Cu　Ni
エチレン生成率	100%　98.5　98.5　91　84　63　14　5　0　0　0　0

◇…加水及脱水……

To possess the courage to obtain the knowledge of the new through the knowledge of the old is undoubtedly the ideal in life.――温故知新と云ふ人生の理想とする處なり（完）

實情に副はない改正は斷じてやらぬ

東株取引所及び組合員代表に對し 結城委員長が言明

【東京二十三日發】取引所制度改革問題に關し東株取引所及び同取引員組合代表の後藤理事長、南波理事、片岡委員長は二十一日取引所制度調査會長たる結城興銀總裁を訪問懇談を遂げたが結城總裁は左の如く言明した

私として取引所制度調査會の內容について云々する事は出來ぬ、併しこれだけは言明する事が出來る、即ち今度の取引所改正の主眼とするところは日本在來の沿革、歷史、習慣を無視して改正するが如き事はやらぬ、調査委員中には學者其他に歐米取引所制度を研究されてゐる方も澤山あるから、種々議論も出るが假令其の事が理論的には良い事であつても、**現在の我國の實狀に副はない事は斷じてやらぬ決心である、**又制度改正の爲に財界に變動を及ぼすやうな事は努めて避ける方針である

言明と實情判明で人氣一層明朗化

日產始め諸株軒並高

【東京二十三日發】改革案の調査事情判明したのと制度調査委員長の言明を得たことから人氣一層明朗化し諸株落著模樣で押目買物も散見され

長期　新甫株は鐘紡各新二新以下小一圓方高く人絹株は帝人新一圓五、六十錢高を中心に倉絹、東洋レーヨン一圓内外高と見られ、新株は日魯新……、石川島、浦賀、圍引締り東……一圓四、六十錢高を中心に新日産、日立製作各一、二圓高目立つた、石油株は日石、北樺油は軒並に一圓方高かつた

短期　改革案全く浮說と判明し前日後場あたりから漸く落著を見せて來た矢先取引所制度調査委員長の言明に副はぬ改革はせぬとの言明を得た所から今市場の人氣猶一層明朗化した新鐘相や伸悩んだが、新東の代役を發してゐる日魯は前日に於いて買氣強く七十四圓臺から五圓臺に進み他も一層引締つて來た

期米は好戻りか

九州の暴風雨も一因

去二十一日沖繩を荒した颱風は北に進み二十三日朝は下關と對馬との中間にあり中心七百三十耗を示し北東に曲らんとし西九州及び山陰の一部は暴風雨となり産鮮地方も多少餘波を受けた模樣であるが、時期尚早く多少の水害はあつても風は却つて蔭ひとなるべく

期米市場も二十二日より二十三日にかけて三十丁方に上つたのみで安値より五十丁戻りは好買場として軟派の狙ふところとなつてゐる政府も去二十一日の統制委員會で或は百萬石程度の拂下げを決定するやの噂もあつたが、公然拂下げを發表すると米價に響くところから拂下げには觸れなかつたのも二十二日の期米反撥の一因となつてゐるが、七月一日と五月一日の政府所有米に九十萬石の差額があつた通り政府は暗默のうちに公共團體其他へ拂下げを實行してゐることが判り十月末の端境までに何百五十萬石程度の拂下げは當然やるものとみて好いのだから今年米が普通作以上、或は豊作を期待し得る限り米價は三十四圓臺を頭に下行くより外なく思惑筋も此處買值まずドシ〳〵賣つて行くのが安全策だと云はれてゐる

太平山の事業地が三星山方面へ移轉

廿年間に千六百萬圓を移 來年から愈々第二計畫

督府營林所經營の三大所從事業地の一たる太平山は、大正四年度より事業開始以來二十二ケ年で所造……、……材を伐り盡し、愈々明年度から事業地を蕃界、羅東郡蕃地の三星山方面に移し現在の太平……

高山部落

落は海拔四千九百尺の高さに在つて人口約五百。營林所事務所の外に神社、小學校、警察官駐在所、郵便局、俱樂部等がある。國營鐵道運材線及び官營の索道と、東驛より運材鐵道で官蘭濁水溪と其の支流タボー溪を遡ること三十七キロで土場に達する、ここには俱樂部があり、宿泊も出來れば湧出する冷泉をわかした溫泉に浴することもできる、ここから標高木平が直立一千三百尺の高さにそそり立つて眉に迫るが、俱樂部前から全國一といふ

自動索道

があつて鋼索の斜面距離三千尺で二十餘度の急斜角を登しガッチリした鋼索に十人乘の客車を吊るし約六分間でスルスルとのぼせる、其の動力は電氣ではなく運材貨車が重量ある木材を搬下する力で鈎瓶式に押上げ交互するもので全くここならでは見られぬ乘物である。幾分かの時間ではあるが客車が中空高く懸かる時など可なりハラ〳〵させられるが事故は一度も起つた事は無いさうな

櫸の木平

からはガソリン・カーの牽引する臺車でカラサン山腹へうねく〳〵した軌道を走ること約一時間半で太平山部落に到達する、此の部落を中心とする一帶の事業……

再製茶の生産

一千六百四十萬斤 紅茶の減少が目立つ

殖産局特產課調査による本年中の再製茶生產狀況は左の如くである

	數量	價格
烏龍	[illegible]	[illegible]
包種	[illegible]	[illegible]
紅茶	[illegible]	[illegible]
綠茶	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

前年に比し包種茶が二萬斤ほど增加したのは滿洲向の增進のためであり、紅茶が五十四萬斤餘減少したのは前年の好況の反動と輸出檢査の創始による粗惡茶の減少とに基くものである

貯蓄銀行 重役會議

冊子問題を協議

貯蓄銀行では、定時總會召集を前にして栗山取締役により投ぜられた意外なる新聞紙冊子問題を……四日の總會に先だち二十三日午前十時より全重役を召集し（栗山氏缺）主として右問題處置を協議したが、結局此際は成行事の推移を見守るため、何れにしても荒だつた態度を避けることを申合せけふの總會に臨むことゝし散會した

三和銀行總會

預金十一億五千餘萬圓

三和銀行は本月三十日午前十時大阪商工會議所にて第六期定時株主總會を開催、本年上半期の利益金處分案（配當年七分）其の他重役の件及取締役北村徳太郎氏の件を付議する由、利益金處分は次の通りである（單位圓）

當期利益金	五、六〇一、〇五二
前期繰越金	一、二三七、七三八
法定積立金	一、一五〇、〇〇〇
株主配當金	三、二五三、〇〇〇
行員退職手當基金	三〇〇、〇〇〇

十一、二年期產糖豫想

千五百三十九萬餘擔 前期より七十二萬餘擔の增

糖聯第一回發表

糖業聯合會臺灣支部發表、新式製糖九社の十一、十二年期第一回調査によると原料作付面積十萬五千百二十三甲、原料收量見込高百十六億六千三百十八萬七千四百斤、平均甲當收穫十一萬八千七百四十四斤、步留一割三分一厘九毛として產糖一千五百三十九萬七千七百八十三擔を得る見込である、之を前期に比すると七十二萬餘擔の增產となつてゐる、各社別に作付面積と原料收穫見込高を示せば

	作付面積（甲）	原料收穫見込高（千斤）
明治	[illegible]	[illegible]
大日本	[illegible]	[illegible]
鹽水港	[illegible]	[illegible]
帝國	[illegible]	[illegible]
昭和	[illegible]	[illegible]
新興	[illegible]	[illegible]
臺東	[illegible]	[illegible]
源成	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

次に各社別步留見込と產糖豫想高を示せば

	步留見込	產糖豫想高
明治	一三、〇〇	[illegible]
大日本	一三、〇〇	[illegible]
鹽水港	一三、〇〇	[illegible]
帝國	一三、〇〇	[illegible]
昭和	一三、〇〇	[illegible]
新興	一三、〇〇	[illegible]
臺東	[illegible]	[illegible]
源成	一三、〇〇	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

步留は前期の實績が近年にない低率なりし爲め今期はそれより四厘餘り高く見て右の如き產糖豫想數字が發表されたわけである

米の重量制は小作人側に有利

四、五等米承認で補償金が增加……內地に於ける實例

……

銷夏鎖談

讀者に聽く……（二）

一、新財源調達の途如何（時局稅、新稅、增稅は何が適當か）
二、臺灣拓殖會社に對する希望
三、ボロ儲けと大損物語（實話に限る）
四、私の感謝と不平（臺灣生活に於ての）
五、私の座右銘、健康法、趣味、好きな人物

櫻井　……

一、新財源調達に對する意見……

木村長十郎

……

力丸慈圓

五、私の……イ、座右銘「急がず倦まず、地味に正しく」ロ、健康法　信仰に安住して、恨みず、悔いず擧げて無盡無作の佛の大神力に托して、常に精神の愉悦を感ずる　これが健康法の根本的基調である……

一縣一銀行に反對を表明

大阪商議所が決議 各地の商議所も……

商況（廿三日）

島內米肥

臺米現物相場

基隆在庫米

高雄在庫米

正米市況後場

島內肥料相場

期米

大阪期米後場

東京期米後場

株式

大阪短期後場

大阪長期後場

大株雜觀

絲況

大阪綿絲

大阪棉花

大阪人絹

橫濱生絲

砂糖

大阪清算

穀肥

神戶豆粕

東京長期後場

東京短期後場

堂島米前場

堂島期米後場

臺中米價